御蔵入三十三観音巡り

元禄十一年制定

JAPAN HERITAGE 日本遺産

木造聖観音菩薩坐像／成法寺（県指定重要文化財）

南山御蔵入の戊辰戦争

文久２年、会津藩の藩主、松平容保公が京都守護職を受け本陣を金戒光明寺におきました。その際守護職の役料として南山御蔵入地の幕府領分五万石を拝領することになり、それから明治を迎えるまで南会津は会津藩領となりました。

戊辰戦争は慶応４年（1868）１月の鳥羽伏見の戦いから翌明治２年、函館五稜郭の戦いまでをいいますが、そのなかで特に会津藩領内での戦いを会津戦争と言います。鳥羽伏見の戦いで会津藩を含む幕府軍は敗退し、戦いは北陸・東北各地へと広がってゆきました。南会津以南の戦いでは3月に日光口にむけ、山川大蔵（浩）が率いる会津藩士約1000 名で会津城下から出発し、下野街道を南下したことから始まりました。同年４月には宇都宮城を落城させていた旧幕府軍陸軍奉行大鳥圭介（播州赤穂出身・函館五稜郭まで戦う）率いる東軍（旧幕府軍）が西軍（新政府軍）の攻撃により宇都宮城を奪い返され、今市まで後退させられました。近くには日光東照宮があり日光での戦いを控え、軍を今の南会津町田島に移し、ここで総督・大鳥圭介、副総督・山川大蔵を中心とした総勢1300名の会津軍旧幕府軍混成部隊が編成されました。混成部隊は改めて進軍し、今市小佐越周辺で板垣退助率いる西軍（土佐藩・彦根藩）約1200名と衝突しました。しかし装備に勝る西軍に混成部隊の攻撃は二度にわたり跳ね返され、南会津方面の藤原に拠点を移し、そこでは地形を利用し、佐賀藩が主力となった西軍を敗退させるなど一進一退の攻防が続き、この戦いは持久戦となってゆきます。

しかし、各地での戦いは西軍優位で進んでいました。慶応４年５月２日長岡藩軍事総督・河井継之助と西軍・軍艦岩村精一郎が小千谷にて会談を行うが決裂し、北越戦争が始まりました。軍備に勝る西軍に長岡藩は抵抗を続け、一度奪われた長岡城を奪い返すなど拮抗した戦いを続けましたが、7月29日に長岡城はついに落城。河井継之助をはじめとする長岡藩兵士や避難民などは八十里越の峠を越え只見町に到着しましたが、戦闘による怪我の影響で河井継之助は只見の地で没しました。

このように、西軍は越後方面から八十里越を抜け、南からは尾瀬や山王峠をうかがい、ひたひたと会津の地に迫ってきました。そこでついに閏8月21日西軍は二本松から母成峠を破り会津若松城下に進軍し、二日後の23日には会津若松城（鶴ヶ城）での籠城戦が始まりました。

そのため兵力を会津若松城下に集結しなければならなくなり、奥会津の正規部隊のほとんどを城下へもどしました。そこで、手薄になった日光口では西軍（芸州藩・備前藩・宇都宮藩）約1100名が侵攻し、栗山村から湯西川を抜け山王峠を越えて29日には奥会津統治の拠点、田島陣屋を占拠しました。西軍は翌日には100名程の守備兵を陣屋に残し大内に向け進軍し占領しましたが、その後大内は会津藩士佐川官兵衛率いる部隊が奪還します。その後会津藩の徴兵に呼応した田島組一戸一人ずつの農兵が9月9日に田島陣屋を奪還しました。大内と田島陣屋を奪還した東軍は長岡藩の敗走兵を追い八十里越の峠を侵攻してきた西軍（信州兵中心）約2000名の中の伊南川筋に布陣した部隊に対し駒止側と舘岩回りの二方面から攻める作戦をとり、9月20日早朝より牛首へつり（内川）での銃撃戦から木伏・大橋での交戦、21日には朴木（耻風）での交戦と、続く23日の入小屋（東）の戦いで西軍を滝原方面へと敗走させました。その後東軍は追撃の手を緩めず、9月24日には滝原の戦いと大芦の奇襲戦、25日には叶津の戦いで西軍を追い込みました。しかし南会津での戦闘の最中の9月22日には会津若松城は開城し、会津藩は降伏していました。会津若松城落城の知らせが田島に届けられ、ここにおいて南会津での戊辰戦争は終結を迎えました。

大内宿（下郷町）

戊辰の役古戦場（昭和村）

叶津番所（只見町）

❶ 牛首へつりでの銃撃戦

八十里越峠から叶津番所を越えて南会津（南山御役知）に入ってきた西軍と東軍が銃撃戦を展開、撃ち合いは数時間に及んだが勝敗はつきませんでした。

❷ 木伏・大橋での交戦

20日、東軍が木伏まで進軍し、押し返してきた西軍と交戦。翌21日、東軍は大橋まで西軍を追い詰めるも決め手に欠き勝敗はつきませんでした。

❸ 朴木での交戦

朴木に進軍した西軍（高遠・飯山藩）を東軍50名が銃撃し朴木で双方撃ち合いとなり、西軍は滝原方面へと敗走しました。

❹ 入小屋の戦い

針生にいた東軍が入小屋にて背後から西軍を襲撃し、西軍は後退します。さらに両方の山から包囲され、滝原方面へと敗走しました。

❺ 滝原の戦い

滝原村にて陣を取っていた西軍（加賀藩）と攻め込んできた東軍が戦いを繰り広げましたが親衛隊や富山兵が加賀藩隊に援軍として加わり、双方に多くの死傷者を出す戦いとなりました。

❻ 大芦の奇襲戦

大芦村にて陣を取っていた西軍（加賀藩・高崎藩）を東軍が早朝に奇襲し、不意を突かれた西軍は応戦をすることができませんでした。

❼ 叶津の戦い

進軍した東軍が、入小屋から敗走し叶津に陣を取っていた西軍を攻撃した。そのため西軍は川口方面へと敗走しました。

南会津 戊辰戦争年表

慶応3年(1867年)

◆10月14日〈新暦11月9日〉 大政奉還がおこなわれる

慶応4年(1868年)

◆1月3日〈新暦1月27日〉 鳥羽伏見の戦い「戊辰戦争突入」

◆5月2日〈新暦6月21日〉 河井継之助と西軍軍艦岩村精一郎が小千谷で会談

◆7月29日〈新暦9月15日〉 北越戦争にて長岡城落城。河井継之助一行が会津へ。

◆8月5日〈新暦9月20日〉 河井継之助一行が八十里越を越え只見に到着する

◆8月16日〈新暦10月1日〉 矢沢宗益宅で河井継之助が没する

◆8月21日〈新暦10月6日〉 母成峠より西軍が会津城下に攻め入る

◆8月23日〈新暦10月8日〉 会津若松城籠城戦が始まる

◆8月29日〈新暦10月14日〉 新政府軍が田島を占領

◆9月9日〈新暦10月24日〉 農兵隊が西軍から田島陣屋奪還

◆9月20日〈新暦11月4日〉 牛首へつりの銃撃戦 木伏・大橋での交戦(～21日)

◆9月21日〈新暦11月5日〉 朴木での交戦

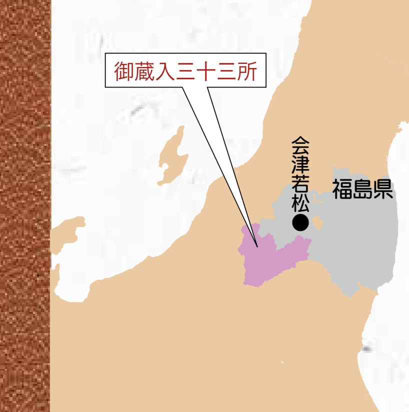
◆9月22日〈新暦11月6日〉 会津若松城落城

◆9月23日〈新暦11月7日〉 入小屋の戦い

◆9月24日〈新暦11月8日〉 滝原の戦い・大芦の奇襲戦

◆9月25日〈新暦11月9日〉 叶津の戦い

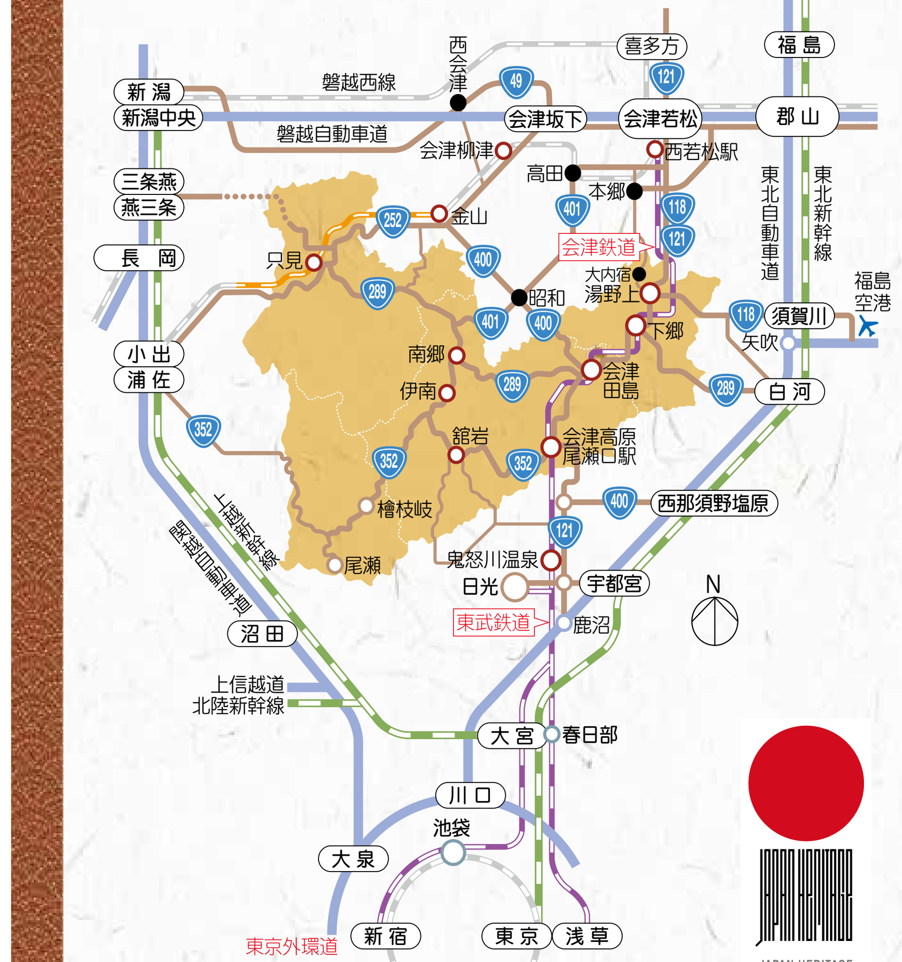
◆9月26日〈新暦11月10日〉 会津若松城落城の知らせが届くことにより、南会津の会津戊辰戦争終結



交通のご案内

御蔵入三十三観音エリアへは東北自動車道で西那須野塩原ICか白河IC、関越自動車道で小出ICからそれぞれ国道を通るルートとなります。また、電車・バスでは東武線直通の特急リバティで会津高原尾瀬口駅や会津田島駅、また、上越新幹線浦佐駅＋JR只見線只見駅からのバスやタクシーのご利用でアクセスできます。詳細は中面の各観光案内所にお問い合わせ下さい。

車でのアクセス	〈東北道白河ICから〉●下郷・約40km ●田島・約52km 〈東北道西那須野塩原ICから〉●田島・約52km ●檜枝岐・約100km 〈関越道小出ICから〉●只見・約60km
電車でのアクセス	東武鉄道浅草駅から会津田島駅まで特急リバティ利用 最短3時間９分 上越新幹線東京駅からJR只見線只見駅まで 約３時間半（要乗換え）



JAPAN HERITAGE 日本遺産

お問い合わせ 会津高原ふるさと推進協議会事務局

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字西町甲4331 南会津地方広域行政センター内
電話番号0241-62-0054・FAX番号0241-62-0115 http://www.aizukougen.jp/

●下郷町商工観光係0241-69-1144 ●南会津町商工観光課0241-62-6200
●只見町観光商工課0241-82-5240 ●檜枝岐村企画観光課0241-75-2503

福島特定原子力施設地域振興交付金事業

御蔵入三十三観音とは

会津三十三観音札所が寛永20(1648)年に設けられ、南山御蔵入領でも札所設立の気運が高まった。そこで元禄11(1689)年に12日間をかけ三十三霊場を巡ったことを始まりとして、聖観音像19、千手観音像5、如意輪観音像4、十一面観音像2、馬頭観音像2、准胝観音像1をまとめ御蔵入三十三観音が制定されました。

木造千手観音坐像／慈恩寺（町指定有形文化財）

御蔵入三十三観音御詠歌

●皇子逃亡伝説

奥会津の高倉宮以仁王

高倉宮以仁王は、後白河天皇の第二皇子。治承四年（一一八〇年）春、源三位源頼政らとともに、平家追討の軍をあげたが、宇治平等院の戦いで破れた（治承の変）。

史実ではその時流れ矢に当たって亡くなられたことになっているが、実は様々な経緯を経て奥会津をたどり新潟県小国へ逃れられた。

奥会津各地には高倉宮以仁王逃亡の記録や史跡・資料・ゆかりの地名が多数残っている。

半夏祭（下郷町）

【史跡・遺跡・ゆかりの地名】

- ●尾瀬沼／お供の尾瀬中納言がこの地で亡くなった（檜枝岐村）
- ●矢櫃峠／お供の参川少将が倒れ、一行は矢櫃を下して休んだ。流れる沢は参川沢（檜枝岐村）
- ●御前梨・安宮清水／宮様が食された梨と清水。（檜枝岐村）
- ●香取神社と宮沢村／宮様の夢に一の宮明神が現れ、大杉より戻られたという伝え。尾白根は杉岸村と改められ、流れる沢は宮沢になった。（南会津町伊南）
- ●木賊権現／木賊温泉入口にあり、御神体は育つ石。戦の神でもある。宮様はここを参拝（代参）された。（南会津町舘岩）
- ●竹杖原と中山峠／峠越えのとき竹の杖の代わりに芝栗の杖を使われたり、実を食べて歌を詠まれた。現在の高杖（南会津町舘岩）
- ●氷玉峠（火玉峠・高峯峠）高峯峠越えの途中で暴風雨となり一行は大内に引き返す。平家方石川有光勢が待ち伏せており、突然火の玉が空から降ってきたという。以後火玉峠となり、氷玉峠となる。（下郷町）
- ●高倉神社／宮様とゆかりの深い大内にある。毎年七月二日には古式床しく半夏祭が行われる。宮様の愛馬・名馬連銭芦毛も祀られている。（下郷町）

高倉神社（下郷町）

- ●桜木姫の墓／（下郷町）大内
- ●和泉田／京都の和泉境に似ていることでつけられた。（南会津町南郷）
- ●九九生／「今の我が身は、地にくぐる竜である」と村人に話されたことからつけられた地名、若宮八幡宮を勧請された。（只見町）
- ●唱ヶ崎古戦場／平家方石川有光勢と戦った場所。宮様方の圧勝で、宮様方の将渡辺（渡部）長七唱の名にあやかってつけられた。（只見町）
- ●龍王院／唱ヶ崎の戦いのとき宮様が移られた修験院。紅梅御前の法要も行った。（只見町）
- ●猿楽・御所平／八十里越にある地名。休息のおり猿楽が演じられた。また野宿された場所。（只見町）

●南山の勇将

祇園祭を残した長沼氏

南会津町田島に居城のあった長沼氏は、河原田氏、山内氏と同じく、頼朝により南会津町田島、下郷町あたりに領地を与えられた。

若松の芦名氏とは同盟、対立を繰り返しながら、最後は伊達氏につき、伊達氏と河原田氏、山内氏との戦いでは先陣をきった。

南会津町田島の鴨山城を居城とし、祇園祭りを盛んにし、産業復興に努めた。伊達氏が米沢に去るとその臣下になり同行した。

祇園祭（南会津町田島）

〔長沼氏関連〕

- ●鴨山城／南会津町田島中心部の愛宕山にある。長沼氏の本城。遊歩道が頂上まである。
- ●徳昌寺／長沼家の菩提寺。15番札所（南会津町田島）
- ●田出宇賀神社・熊野神社／田島祇園祭は、この両神社の合同祭として行われている。（南会津町田島）

鴨山城跡（南会津町田島）

田出宇賀神社・熊野神社（南会津町田島）

- ●教林寺／長沼氏ゆかりの寺。（南会津町田島）
- ●薬師寺／長沼氏の祈願寺。14番札所（南会津町田島）

●伝統二百余年

檜枝岐歌舞伎

檜枝岐村民で組織される「千葉之家花駒座」によって演じられる伝統の農民歌舞伎。

寛政年間（一七八九～一八〇〇年）に伝えられたといわれるが、明確な記録はない。年3回の定期公演が檜枝岐村の歌舞伎舞台で行われている。

檜枝岐歌舞伎（檜枝岐村）

五月十二日　八月十八日　九月第一土曜日の3回。五月と八月の公演は奉納歌舞伎で、九月の公演は有料。

演目も多く代表的なものは「奥州安達ケ原・袖萩祭文の段」「鎌倉三代記・三浦別れの段」など。

歌舞伎の舞台も国重文指定になっている。

また農民歌舞伎は江戸時代後半から盛んになり、当時の奥会津地方では至るところで演じられていた。昭和二十四年（一九四九年）南会津町南郷で近郷の歌舞伎七座による競演が行われたという記録もある。

しかし現存するのは檜枝岐歌舞伎だけで、わずかに南会津町伊南の大桃地区に舞台が残っている。

●明治初期の奥会津を歩いたイギリス人女性

イザベラ・バード

イザベラ・バード（一八三一～一九〇四年）イギリス人の女性旅行家。明治十一年（一八七八年）47歳のとき日本を訪れ、六月から九月にかけて日光、会津、裏日本から北海道まで旅行した。

旅行記は「日本奥地紀行」として出版された。コースは山王峠（南会津町田島）から南会津町田島、下郷町、大内宿、会津美里町、会津坂下町、西会津町を通って新潟県阿賀町へ抜けている。

下野街道（下郷町）

●幕府に反逆した農民達

南山御蔵入騒動

享保五年十一月（一七二〇年）南山御蔵入の農民が百姓一揆をおこした。一揆は南山御蔵入19組二七一ヵ村の農民たちが結束して驚くべき組織性と行動力を発揮し大いに盛り上がり、徳川幕府を震撼させた。しかし幕府は一揆の首謀者6名の処刑（他に9名の牢死）と三百名を越す農民を処罰するなどしてこの一揆を鎮圧した。

南山御蔵入は当時、幕府の直轄地であり南会津町田島に代官所が置かれていた。南山御蔵入は現在の南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町、金山町、昭和村、三島町、柳津町、会津美里町などが含まれていた。

一揆は享保五年十一月に下郷の農民約八百名が田島代官所に直訴したことから始まった。

翌享保六年一月（一七二一年）15人の農民代表が江戸に上り、幕府の勘定奉行所へ直訴、続いて第二陣18人も上京し大いに気勢をあげた。

当初幕府はこの直訴を軽視していたが、一向にへこたれる様子がなく、逆に気勢が上がっていくことに驚き、ついに本格的な対応を余儀なくされた。

江戸から遠く離れた雪国奥会津の農民達が、一糸の乱れもなく団結して行動する背景には、南山御蔵入二七一ヵ村の周到な計画と組織化、支援体制が整っていたからだ。

享保六年四月幕府はついに取り調べを開始した。南山御蔵入の郷頭18名と名主等95名が江戸に呼ばれ取り調べられた。

ついで九月には幕府の役人が田島に派遣され、会津藩の警護の下、領内全村を二ヵ月もかけて、くまなく取り調べた。

この一連の取り調べの目的は団結した農民たちを分断することにあり、そのため一揆の指導的役割を担った名主達を江戸に引き止めておいて行われた。

その結果6名が一揆の首謀者として江戸で処刑された。（喜四郎は田島町に戻っているところを逮捕され処刑）

その他に江戸の獄中で9名が死亡しており、この一揆では15人が命を落とした。

一揆の背景としてはもともと山間の雪国で生産力の低いこの地方で、年貢が厳しく取り立てられたことへの不満。その支払い方法の改善要求などであったが、郷頭制度の廃止要求などもあった。

厳しい処罰のあとこの地域は会津藩の預かり領となり、年貢を江戸まで運ぶ廻米制度が無くなり、また年貢の支払い方法も改善されるなど、直訴の内容がわずかに実現された。

奥会津の人々によって代々語り伝えられ、今でも『南山義民』として郷土の誇りとなっている。

〔史跡・遺跡など〕

- ●南山義民碑（南会津町田島）
- ●丸山公園（南会津町田島）義民の碑、喜四郎の墓、土井晩翠歌碑などがある。
- ●土井晩翠歌碑（南会津町田島）
- ●田島陣屋跡（南会津町田島）現在の南会津町役場付近にあたる。
- ●安照寺（南会津町南郷）
- ●瀧泉寺（只見町黒谷）4番札所

御蔵入三十三所観音巡り

木造阿弥陀如来坐像／善導寺 C-4（県指定重要文化財）
千手観音立像／大橋清水堂（町指定有形文化財）
永田西国三十三観音 南会津町田島 D-4
大内宿／下郷町 E-3
南泉寺楼門／南会津町田島 D-4（県指定重要文化財）
六地蔵／檜枝岐村
前沢曲屋集落／南会津町舘岩 C-5

主要連絡先一覧

☎ 下郷町 ●市外局番0241		
下郷町商工観光係	☎69-1144	[塩生]
下郷町観光案内所	☎68-2920	[湯野上]
大内宿観光協会	☎68-3611	[大内]
☎ 南会津町〈田島エリア〉●市外局番0241		
南会津町商工観光課	☎62-6200	[田島]
南会津町観光物産協会田島観光センター	☎62-3000	[田島]
みなみやま観光㈱	☎62-2250	[田島]
☎ 南会津町〈舘岩エリア〉●市外局番0241		
南会津町舘岩総合支所	☎78-3330	[松戸原]
南会津町観光物産協会舘岩観光センター	☎64-5611	[松戸原]
舘岩広域観光案内所	☎78-2075	[松戸原]
☎ 南会津町〈伊南エリア〉●市外局番0241		
南会津伊南総合支所	☎76-7715	[古町]
南会津町観光物産協会伊南観光センター	☎64-5711	[古町]
☎ 南会津町〈南郷エリア〉●市外局番0241		
南会津町南郷総合支所	☎72-2900	[山口]
南会津町観光物産協会南郷観光センター	☎64-5811	[山口]
☎ 只見町 ●市外局番0241		
只見町観光商工課	☎82-5240	[只見]
只見町インフォメーションセンター（一社）只見町観光まちづくり協会	☎82-5250	[JR只見駅内]
☎ 檜枝岐村 ●市外局番0241		
檜枝岐村企画観光課	☎75-2503	[見通]
尾瀬檜枝岐温泉観光協会	☎75-2432	[見通]
尾瀬檜枝岐温泉観光案内所	☎75-2432	[見通]
☎ 交通〈東武電車ルート〉●市外局番0241		
JR磐越西線・東北新幹線 JR東日本テレフォンセンター	☎050-2016-1600	
会津若松駅	☎0242- 22-0257	
会津鉄道本社	☎0242-28-5885	[会津若松]
湯野上温泉駅	☎68-2533	
会津下郷駅	☎67-2320	
会津田島駅	☎62-0065	
会津高原尾瀬口駅	☎66-2329	
☎ 交通〈会津高原の路線バス〉●市外局番0241		
会津バス本社	☎0242-22-5560	[会津若松]
田島営業所	☎62-0134	[田島]
☎ 交通〈タクシー〉●市外局番0241		
湯野上タクシー	☎68-2345	[湯野上駅前]
会津交通マルイタクシー	☎67-2121	[下郷駅付近]
祇園タクシー	☎62-0074	[田島]
田島タクシー	☎62-1130	[田島]
会津交通　旭タクシー	☎62-1243	[田島]
会津交通　旭タクシー舘岩営業所	☎78-2017	[舘岩の松戸原]
山口タクシー	☎0120-13-2354	[南郷の山口]
只見観光タクシー	☎82-2202	[只見の只見]
朝日タクシー	☎84-2235	[只見の黒谷]
☎ 交通〈レンタカー〉●市外局番0241		
下郷レンタカー	☎67-2330	[下郷駅付近]
会津レンタカー	☎64-5330	[田島]
ロータス和光商会	☎0120-39-0536	[田島]
NTレンタカー（南栄通商）	☎62-4446	[田島]
NTレンタカー只見営業所	☎84-2106	[只見の福井]
☎ 緊急〈警察〉●市外局番0241		
福島県南会津警察署	☎62-1140	
☎ 緊急〈病院〉●市外局番0241		
福島県立南会津病院	☎62-7111 ☎62-7181	[田島の永田] [夜間・救急]
佐藤医院	☎67-2134	[下郷の塩生]
芳賀医院	☎67-2128	[下郷の栄富]
きむらクリニック	☎62-5576	[田島の大坪]
高橋医院	☎62-0040	[田島の中町]
長谷川医院	☎62-0032	[田島の中町]
馬場医院	☎62-0141	[田島の谷地]
あベクリニック	☎62-8733	[田島の永田]
舘岩愛輝診療所	☎78-8688	[舘岩の湯ノ花]
小野木クリニック	☎76-7780	[伊南の古町]
なかやクリニック	☎73-2036	[南郷の片貝]
朝日診療所	☎84-2221	[只見の黒谷]
檜枝岐診療所	☎75-2341	[檜枝岐]
☎ 緊急〈南会津広域消防署〉●市外局番0241		
本　部	☎63-3119	[田島]

写真協力：小林宗一